

イギリス文化論Ⅱ

科目ナンバリング EUS-104
選択 2単位

小林 克彦

1. 授業の概要(ねらい)

この授業では、英語の習得を通じて、英語の発祥の地であるイギリスについて、その歴史的・社会的・文化的知識を身に付け、理解を深めていきます。

2. 授業の到達目標

- 1 イギリスの地理と行政区分を説明できる。
- 2 イギリスの歴史について、その大枠を説明できる。
- 3 英語の成り立ちを説明できる。
- 4 イギリスの文化の一つの分野について説明できる。
- 5 今日のイギリス社会における多民族・多文化的状況について理解している。
- 6 留学生との交流を通じて、英語が世界でどのように学ばれ、使用されているか理解している。

3. 成績評価の方法および基準

授業内での活動10%、発表とレポート40%、期末試験50%。

4. 教科書・参考文献

教科書

Scott Berlin & Chisako Nakayama 『Discover Great Britain and Ireland (DVDで体験するイギリスとアイルランド)』2008年 金星堂

参考文献

指 昭博 『図説イギリスの歴史』2015年 河出書房新社

5. 準備学習の内容

授業では、DVD付きの教科書を使います。指定されたチャプターを事前に視聴して予習をしてから、授業に出席してください。また配布資料での予習・復習が求められます。(大学設置基準によれば、1時間の授業に対して、授業外学習を2時間することが求められています。)

6. その他履修上の注意事項

教員による指示がない限りは、スマートフォン等の使用は禁止します。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---|
| 【第1回】 | オリエンテーション |
| 【第2回】 | 中世のイギリス
封建制度、マグナカルタの歴史的意義について理解する。教科書チャプター6のDVDを視聴する。 |
| 【第3回】 | 『カンタベリー物語』
ジェフリー・チョーサー『カンタベリー物語』を読む。 |
| 【第4回】 | ウェールズ
教科書チャプター6のDVDを視聴し、ウェールズの歴史・言語について理解する。 |
| 【第5回】 | キリスト教
中世のイギリス社会におけるキリスト教の役割を理解する。 |
| 【第6回】 | 15世紀のイギリス
「ばら戦争」を経て、王権が強力になったことを理解する。 |
| 【第7回】 | 16世紀のイギリス
イギリスの宗教改革の特徴について理解する。 |
| 【第8回】 | 17世紀のイギリス
国王と議会、カトリックとプロテスタントの対立について理解する。 |
| 【第9回】 | 個人研究の発表
授業で扱われた事項について各学生が調べてきたことを、グループに分かれて発表する。 |
| 【第10回】 | スコットランド
教科書チャプター10のDVDを視聴し、スコットランドと首都エディンバラについて理解する。 |
| 【第11回】 | ヨーロッパの世界進出 1
ヨーロッパ諸国の覇権争いと世界進出について理解する。 |
| 【第12回】 | ヨーロッパの世界進出 2
ヨーロッパ諸国がグローバルな交換ネットワーク作りを強力に推し進めたことを理解する。
それによってイギリス社会がどのように変化したか理解する。 |
| 【第13回】 | 産業革命と大英帝国
なぜイギリスに産業革命が起こったのか理解する。
なぜイギリスが20世紀の初頭には、世界の4分の1を領土として所有することになったのか理解する。 |
| 【第14回】 | 今日のイギリス
二度の大戦を経て、帝国からの撤退を余儀なくされたことを理解する。
今日のイギリスの多民族・多文化的状況を理解する。 |
| 【第15回】 | まとめと期末試験 |